

令和3年度 学校マネジメントシート

学校名 (三重県立津東高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		<p>○生徒一人ひとりの良さを伸ばし、教職員一人ひとりの良さが活きている学校。</p> <p>○地域における進学校としての教育・進学ニーズに真正面から応える学校。</p> <p>○自立・進取の気概を持ち切磋琢磨に努め、不断の進化を続ける学校。</p>
(2)	育みたい 児童生徒像	<p>○「向学立志」の校是を理解し、夢や目標をしっかり持ち、その実現に向けて主体的に努力を続ける生徒。</p> <p>○学習や部活動に積極的に取り組み、自分の良さを伸ばそうとしている生徒。</p>
	ありたい 教職員像	<p>○連携の意識と向上心を持ち、新しいことにチャレンジすることを忘れず、自分の良さを活かして仕事をする教職員。</p> <p>○授業を大切にし、基本的生活習慣の確立、学力向上と進路希望実現に努め、生徒の良さを伸ばそうとする教職員。</p>

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p><生徒> できれば国公立大学に進学したいと希望しており、それを実現できるよう、学力を付けられるわかりやすい授業を望んでいる。</p> <p><保護者> 子どもをできれば国公立大学に進学させたいと希望しており、それを実現するための授業力・進路指導力を期待している。</p> <p><地域・県民> 地域に貢献でき、学力に見合う豊かな人格と心を持つ生徒の育成、地域社会を担い、社会貢献する生徒の育成を期待している。</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p><保護者・PTA> 確かな学力と進路保障、豊かな情緒や人格形成をして欲しい。</p> <p><地域> 地域の活性化に協力し、信頼できる学校となって欲しい。</p> <p><進学先(大学等)> 基礎学力と明確な目的意識、課題解決のための「思考力・判断力・表現力」を育てて欲しい。</p> <p><学習塾等学習産業> (中学生対象の学習塾) 高校卒業後の進路状況などの情報提供をして欲しい。(高校生対象の学習塾) 大学入試に向けた連携をして欲しい。</p>	<p><保護者・PTA> 家庭での学習環境整備と学校教育活動に理解や協力をして欲しい。</p> <p><地域> 学校教育活動に理解や協力をして欲しい。</p> <p><進学先(大学等)> 生徒の進路希望実現のための情報提供をして欲しい。</p> <p><学習塾等学習産業> (中学生対象の学習塾) 中学生保護者へ本校教育活動の情報提供をして欲しい。(高校生対象の学習塾) 大学入試関連の情報提供をして欲しい。</p>
(3) 前年度の学校関係者評価等	<p>新型コロナウイルス対策の徹底で、安全安心な学校生活ができた一方、行事の中止・延期等があった。今後は、学力保証・進路実現と学校生活充実の両立に取り組んでもらいたい。また、新しい生活様式や働き方改革等、新しい時代に対応したキャリア教育の構築に期待したい。</p>	

(4) 現状と課題	教育活動	生徒は落ち着いており、学習や部活動に熱心に取り組んでいるが、大人しい生徒が多く、自主性や積極性にやや欠け、高い目標設定をせず諦めてしまう場合がある。きめ細かくていねいな指導により学習意欲が高まり、国公立大学への進学者も増えている。新学習指導要領や高大接続改革も踏まえ、引き続き、情報収集、教育課程や指導の改善、主体的・自立的に学習に取り組む指導、生徒個々の状況に応じた指導に努める必要がある。また、挨拶の励行、人権教育の推進、活躍の場の設定等により、生徒の自主性や積極性を高める必要がある。
	学校運営等	教職員間の情報共有と共通理解の一層の推進により、学校全体で組織的、計画的に学校運営に取り組むとともに、開かれた学校づくりのため情報発信と関係機関等との連携を深める。より効果的な教育活動、効率的な業務を行うとともに、総勤務時間縮減に取り組み、働きやすい職場環境をつくる。学校の教育力と組織力を高め、質の高い教育を提供し、学校への信頼を向上させる。

3 中長期的な重点目標

教育活動	<p>○生徒の進路希望実現と「生涯学び続ける学力」をつけるために、生徒の実態を定期的に調査するとともに、新学習指導要領や高大接続改革等も踏まえ、教育活動の改善に向けた情報収集や研修会を進めながら、生徒の学力と進路意識の向上、教員の指導力向上に学校全体で取り組む。</p> <p>○部活動と学習の両立のための時間の使い方など、生徒の基本的な生活習慣を確立させる。一人ひとりの自尊感情を育成し、自分の良さに気づき、伸ばそうとする指導を重ねるとともに、人の気持ちを理解し他者と支え合いながら社会を創っていく社会人基礎力を育む。</p>
学校運営等	<p>○学年や分掌間で連携し、明るく相互に認め合い協力し合える組織文化を培うとともに、情報共有のしくみを作るなど、職員相互の対話と情報共有を促進し、学校全体の教育力と組織力を高め、学校への信頼を向上させる。</p> <p>○業務の効率化を図り、総勤務時間の削減に取り組むことで、教職員が元気にいきいきと職務を遂行できる環境づくりに努める。また部活動については「学校部活動運営方針」に基づき、その周知徹底と運用に取り組むとともに、働き方改革をさらに推進する。</p> <p>○学校運営への保護者・地域住民の参画を呼びかける。またホームページによる学校教育活動の情報提供を充実させるなど、開かれた学校づくりに取り組む。</p>

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育（進路指導）」「生徒指導」「保健管理」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重要

項目	取組内容・指標	結果	備考
進路希望の実現	<p>(1) 希望進路実現に向けた生徒・保護者の進路意識の向上とサポート体制の充実</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路ガイダンスや進路講演会の実施 1年生・2年生：年3回以上 3年生：年5回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生・2年生は、1学期と2学期に各1回ずつ実施し、3学期にも1回実施する予定。 	◎

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共通試験出願と利用の奨励（出願率 90%以上） ・ 生徒一人ひとりとの丁寧な面談時間の実施（年間 3 回以上） ・ 保護者を対象とした進路懇談会の実施（年 1 回） <ul style="list-style-type: none"> [1 年] 6 月 5 日 AM・11 月 6 日 PM [2 年] 6 月 5 日 PM・11 月 6 日 AM [3 年]年 1 回実施 6 月 12 日 AM ・ 模試の受験に向けた計画的な準備と振り返りの実施 <ul style="list-style-type: none"> 土曜補講 令和 3 年 5 月 1 日 2 年生のみ実施 令和 3 年 6 月 19 日 1・2 年生ともに実施 令和 3 年 10 月 30 日 1・2 年生ともに実施 令和 4 年 12 月 18 日 1・2 年生ともに実施 令和 4 年 2 月 14 日 2 年生のみ実施 模試の振り返り 令和 3 年 07 月 06 日 1・2 年生ともに実施 令和 3 年 11 月 09 日 2 年生で実施 令和 3 年 11 月 11 日 1 年生で実施 令和 4 年 01 月 25 日 1 年生で実施 ・ 生徒の心に寄り添った相談体制によって自己肯定感を育み高める ・ 各種奨学金の紹介と手続きのサポート 【評価指標】 ・ 国公立大の合格者 80 名（現役・卒業生） (2) キャリア教育の充実 【活動指標】 ・ 体系的なキャリア教育確立に向けた「総合的な探究の時間」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 年生は進路に関する集会を 5 回以上行った。 ・ 出願率：96.4% (295 名出願) ・ 1・2 学期に 2 回の面談期間を設けた。 3 回目は、3 学期に実施予定。 ・ 保護者進路説明会として実施。 ・ 進路検討会や志望校調査などを計画的に行うことができた。 ・ 大学予約奨学生に 111 名が応募 ・ 国公立大学への推薦入試の合格者数は 20 名 (12 月末時点) ※昨年度の 6 名から大幅に増加した。 ・ 1 年：県の部局と連携し 	※
--	--	---	---

	<p>の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文や各専門分野、職業案内等キャリア関係図書の充実 	<p>たキャリア教育を8回実施（11月9日に県内の現状についての県職員による説明。2月9日にそれ受けて改善策の立案と発表。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三重大学についてのレポート（夏休み課題） ・生徒の要望に応えながら、関係図書の充実に努め、希望進路の実現の一助となった。 	
<p>学習環境の整備</p>	<p>(1) 「生涯学び続ける学力」の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の改善や教科指導力の向上に向けた研鑽の奨励 ・コース別に単位制に関わる授業のあり方について再考し、講座を見直す ・授業時間の確保 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン授業の準備促進、実施 <ul style="list-style-type: none"> ・各種行事の見直し ・夏季休業期間の見直し <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度と同数の授業時間数 ※R2はコロナのためR1と同時数 <ul style="list-style-type: none"> ・授業規律の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・9月の休校期間中のオンライン授業時間割を作成し、運用した。 ・1年生を対象に4月にオンライン授業のガイダンスを実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・9月の休校に伴い学園祭と中間考査の実施見直しをおこなったが、授業時間数を確保するまでには至らなかった。 ・スマホ、携帯電話使用マナー違反総数 昨年度比 21件減 ・遅刻総数 昨年度比 66回減 <p>今年も去年に引き続き特定の生徒の遅刻が多い。学年、厚生部、教育相談など他の分掌と連携しながら注意深く指導していく必</p>	<p>◎</p>

	<p>・自主学習の計画指導と取り組み内容の確認 【評価指標】</p> <p>・授業アンケートの満足度 80%以上</p> <p>・学習時間の確認 1 学年：(平日) 2 時間、(休日) 3 時間 2 学年：(平日) 2.5 時間、(休日) 4 時間 3 学年：(平日) 4 時間以上、(休日) 10 時間以上</p> <p>(2) 新学習指導要領や高大接続改革等を踏まえた教育活動の改善 【活動指標】</p> <p>・新学習指導要領に対応した教育課程の検討と確定</p> <p>・Sクラスの3クラス120人体制の継続に伴う、講座編成、習熟度別授業のあり方について検討と改善 【評価指標】</p> <p>・令和4年度入学生教育課程の年内確定</p> <p>(3) 生徒の学習環境の整備・改善 【活動指標】</p> <p>・生徒が使用する机・椅子・教室のカーテン等学習環境の整備</p> <p>・感染予防対策の徹底 机・ドアノブの消毒：毎清掃時</p> <p>・環境美化活動の徹底 美化委員による清掃確認：年12回</p>	<p>要がある。</p> <p>1 年：86.4% 2 年：83.2% 3 年：69.6%</p> <p>平日 1.5 時間/休日 3 時間 平日 2 時間/休日 3 時間 平日 4 時間/休日 10 時間</p> <p>・新学習指導要領(令和4年度入学生)に対応した教育課程を確定した。※今後、大学入試に合わせて引き続き検討。 ・1、2年生の来年度に向けた系列科目選択を実施し、学年、教科と連携して、各系列、科目の選択人数に合わせて来年度の講座編成原案を作成した。</p> <p>・令和4年5月まで継続的に検討して決定する予定。</p> <p>・教育課程を確定し県へ提出</p> <p>・毎年4月に机と椅子を交換。 ・新規に机・椅子を約100ずつ購入。</p> <p>概ね実施できた。</p> <p>清掃確認：9回実施</p>	<p>※</p> <p>※</p>
--	---	--	-------------------

	<p>大掃除(中掃除含む)：年 6 回 ゴミゼロ運動：年 1 回 夏期除草作業：年各 1 回※R3 年度は休校中のため中止 クラブ一斉清掃 (年各 1 回) 12 月 1 日 雨天中止※冬季休業中に各クラブで実施 カーテンの洗濯：年 1 回 ・新図書貸出システム TOPNET の活用充実</p>	<p>大掃除：3 回実施 ゴミゼロ運動：6 月実施 ・各クラブで随時実施 9 教室で実施 ・大きな問題なくうまく活用できた。</p>	
<p>自主性・主体性の育成</p>	<p>(1) 自ら課題を見つけ自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく課題を解決する資質や能力の育成 【活動指標】 ・学校行事や学習の場で、生徒自らが対話を通して意思決定につなげる機会の創出 ・生徒会役員がリーダーとなり学校行事の運営を担う朝の挨拶運動を週 2 回実施 ・一斉読書や委員会などの活動を通して自主的に読書に親しむ機会を設ける 一斉読書：年 2 回 1 回目 [1 年] 4 月 22 日 [2・3 年] 4 月 15 日 2 回目 [1・2 年]R4 年 2 月 10 日実施予定 図書館だより「Library」の発行 【成果指標】 ・年間貸出目標冊数：5,000 冊 ・生徒会役員を対象とした満足度アンケート：満足度 80%以上</p>	<p>◎ ・体育祭やクラスマッチ等それぞれの種目決定の他、ルールや実施方法について、生徒会役員でコロナ禍での実施に向けて検討を重ねたうえで開催した。 ・生徒会役員による挨拶運動は、コロナウイルス感染状況により実施できない時期もあったが、可能な限り自主的に実施した。 ・年間を通じて、一斉読書の PR、「図書委員のおすすめ本」および「本校教職員のおすすめ本」、図書委員会発行「Library」や折々の企画展示を通して生徒に読書を PR している。 ・図書委員の有志による「校内ビブリオバトル」を行ない、読書の楽しさを実感し、また読書仲間との有意義な意見交換の時間を過ごすことができた。 ・2,918 冊 (12/23 日時点) ・概ね 90%以上を達成</p>	◎

	<p>(2) 差別を許さない態度と差別を見抜き、差別解消に向けて主体的に行動する力の育成</p> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権学習の実施（年2回）※下記に実施日と内容を記載 <p>[1年生]</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月22日 いじめの防止 11月4日 自己肯定感の涵養 11月18日 新型コロナウイルスと人権 <p>[2年生]</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月22日 平和と人権 11月11日 ネットモラルと人権 11月18日 教師が人権を語る <p>[3年生]</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月22日 統一応募用紙 11月18日 SDGsと人権 <ul style="list-style-type: none"> ・ピンクシャツ運動の実施（年1回） 11月18日実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターやビデオを作成し啓発活動に取り組んだ。ビデオは、各教室で放映した。 	
<p>安全・安心な学校づくり</p>	<p>(1) 他者を思いやり、互いに尊重することができる仲間づくりの促進</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ」「体罰」「パワハラ」「セクハラ」の未然防止及び早期発見・早期対応をめざした取組の推進 いじめ、体罰、パワハラ、セクハラのアンケートの実施：年3回 ・他者を思いやる心の涵養 人権学習や講演会の実施 <p>(2) 外部機関との連携による生徒・保護者の心身の適切なケア</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任団の情報交換を毎日実施 欠席状況の確認：毎日 ・学年・養護教諭・教育相談等との連携を密にする 保健室利用状況の報告と学年との情報交換：年10回 教育相談係との連携：年20回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケート：第1回8/26～ コロナ事情により各学年の状況に合わせて日程を調整した。 第2回2月下旬予定 ※11月に人権講演会を予定していたが、講師の日程調整がつかず断念した。 <p>毎日実施できた。</p> <p>情報交換：8回実施</p> <p>教育相談連携：20回以上実施</p> <p>事例毎随時情報交換を行なうことができた。</p>	<p>◎</p> <p>※</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーの活用 ・「性教育講座」の実施（年1回） 7月1日実施 ・健康増進意識の向上 消毒液、石けん液の補充・確認：週1回以上 保健委員による感染症防止活動 手洗い、換気、黙食の呼びかけ：週1回以上 健康（感染症予防）に関する情報発信：年10回以上 (3) 実効性のある防災体制の確立 【活動指標】 ・年1回の防災避難訓練の実施 ・防災講話の開催（年1回） ・防災ノートを活用した危機管理教育の実施（年1回） 1年：2月15日実施予定 2年：2月3日実施予定 3年：10月12日実施 ・防災マニュアルの作成と防災体制の共有 ・救急救命講習会の開催（年1回） 7月12日に実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングを受けた生徒21名（延べ回数49回） 安定し継続的にカウンセリングを受けられる体制が整いつつある。 週1回以上実施した。 感染防止活動：ほぼ毎日放送等で実施 保健便り：10回以上発信 (1/7時点) ・3月に実施予定 (9月より延期) 1年生を対象として実施予定 ・危機管理マニュアルを作成・提示 	※
<p>自尊感情と社会人基礎力の育成</p>	<p>(1) 規範意識の涵養と基本的な生活習慣の確立 (2) 挨拶の励行とコミュニケーション力の育成</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員による登校指導を毎日実施 ・「薬物乱用防止講話」「交通安全講習」の実施（各年1回） 「薬物乱用防止講話」：6月10日に実施 ※コロナ感染防止のため、今年度も外部講師の講演を中止し、HR単位で啓発パンフを使用して指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月からは月1～2回PTAも参加して実施している。（コロナの状況で中止もあった） 	◎

	<p>「交通安全講習」：下記の取り組みで代替</p> <p>自転車安全点検：4月13日～4月16日の3日間実施</p> <p>入学オリエンテーションで生徒会による交通安全講話を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員が率先して声掛け（挨拶）を行う ・学校生活の全ての場面における全職員による指導の徹底 <p>(3) 望ましい集団や社会の実現に向けて活動しようとする意欲や態度の育成</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権LHRの実施（年2回以上） ・「新聞を読もう」活動の実施（年間15回以上） ・一般的な見聞を広めるために新聞や関連図書を広く収集し、情報提供を行う <p>図書館文化講座を実施し啓発に努める（年2回）</p> <p>6月16日「南遊亭萬年の上方落語講座」</p> <p>10月29日「自分はどんな性格なの？パーソナリティ心理学」</p> <p>(4) 自己肯定感を育み高め、心身共に健全健康となるよう心のケアを中心に生徒と丁寧な対話を心がける</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年間17回発行 ・朝日新聞、中日新聞、スポーツ新聞の3紙を購入し、閲覧可能にしている。 ・生徒から希望を募り、希望を参考として定期購入を決定している。 	
--	---	--	--

改善課題

コロナウイルス感染拡大防止により、2学期が10月からの開始となった。そのため1カ月間のオンライン授業や休校が明けてから2週間の分散登校を実施せざるを得ない状況であった。また、学園祭は2年連続で中止、修学旅行は2度の延期というかたちになった。これらのことが、生徒の学習状況に対する不安が募るとともに、ストレスを肥大させる引き金となったと考えられる。今後もコロナウイルスの感染状況によっては、同様の事態が予想されることから、今まで以上に生徒に寄り添った対応と体制づくりが必要であるとする。

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学校全体の組織力の向上	<p>(1) 横断的な組織形成と情報共有の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学年・分掌における、縦と横の連携の円滑化 ○ 情報共有の徹底と個々の事例について連携を図りチームとして指導に臨める雰囲気づくりの促進 ○ 進路指導部と学年団の意思疎通を図り、お互いに協力して生徒への円滑な進路指導の実現 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年との進路懇談会の実施 1学年・2学年：年5回以上 3学年：年10回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年ともに目標以上の回数での進路懇談会を行った。 	◎

	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導にかかわる研修会の実施（年 10 回） ・研修会・研究会の情報共有の徹底 <p>(2) 生徒一人ひとりを尊重し、個に応じた指導ができるよう、ICT活用と観点別評価を視点に、指導技術の向上と授業改善の実施</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導技術の向上、授業改善の校内研修実施（年 3 回） ・校内統一取組「ICTを活用した授業改善」の実施 ・校内での授業公開、学校長による授業見学の実施（年 2 回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大の影響で、研修会の中止が相次いだ。 ・夏期教員研修には多くの先生にご参加いただいた。 ・職員研修（ICT 活用） 5/17 ・学校長による学習会の実施 7/20、7/28、7/30 ・評価と指導の一体化について（観点別評価） 11/117 ・1学期と2学期に各1回実施 ・GIGA スクールサポーターによる研修会の実施 ・相互授業見学：1回 ・授業見学 10月18日～11月5日 	
開かれた学校づくり	<p>(1) メディアの活用による情報提供の促進と多様な意見収集</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年通信の発行（月 1 回以上） ・各部通信の発行（年 5 回以上） 生活指導部たより 進路たより 人権のたより「風光れ」 ほけんだより 	<ul style="list-style-type: none"> 1年：4回 紙面での学年通信を配布と GoogleClassroom の併用による情報提供の実施 2年：15回 3年：8回 11回 [1・2年] 6回 [3年] 10回 6回 10回以上 	※

	<p>教育相談たより Library 新着図書案内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絆ネットの積極的活用 ・ ホームページの更新（月 1 件以上） ・ 報道機関への情報提供（年 5 回以上） ・ 部員による部活動の魅力発信の実施 8 月 24 日実施「高校生活入門講座」 <p>(2) 保護者や地域住民の学校運営への参画促進 【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P T A 役員の学校行事への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校関係者評価委員からの意見収集（年 3 回） <ul style="list-style-type: none"> ① 7 月 5 日実施 ② 1 月 18 日実施 ・ 授業公開の実施（年 2 回） ・ 保護者対象の進路懇談会の実施（各学年年 1 回） ・ 保護者の教育相談室の利用促進 ・ 保護者への新着図書の案内と図書館開放 【活動指標】 	<p>9 回 7 回 7 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年 110 回（1/14 時点） ・ 年 39 回実施（1/14 時点） ・ 年 5 回 ・ 高校生活入門講座において部活動紹介を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 月 2 回朝の挨拶運動を実施。 ・ 体育祭とゴミゼロ運動は、コロナウイルス感染拡大防止の観点から PTA は不参加とした。 ・ 学園祭は休校のため中止となった。 <p>※ 9 月中休校のため中間報告は取り止め。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染拡大防止の観点から 5 月 11 月ともに中止とした。 ・ 進路説明会閉会後の時間を利用して実施 ・ スクールカウンセラーによるカウンセリングを受けた保護者数 4 名 （延べ回数 12 回） <p>広報活動の成果と思われる。保護者の利用回数、継続的な相談件数が増える傾向にある。</p>	<p>◎</p>
--	---	---	----------

	<ul style="list-style-type: none"> ・図書案内の発行（年 8 回） ・図書館開放（年 2 回※保護者会中） 	<ul style="list-style-type: none"> ・新着図書案内を毎回学校HPに掲載した。 ・新着図書案内 7 回発行（12 月末現在） ・保護者会中も図書館を開館し保護者の方々にも利用していただいた。 	
目指す姿の具現化	<p>(1) 目指す学校像の具現化に向けて、本校のあるべき姿や目指すべき方向性等についての対話促進</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ビジョン委員会の開催：年 6 回以上 ・学力向上推進委員会の開催：年 6 回以上 ・校長と教職員との面談：1 人年 2 回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11 回実施（1/7 時点） ・ 2 回実施（1/7 時点） ・ 5 月と 1 月に実施 	◎ ※
学校の信頼向上	<p>(1) 学校信頼向上委員会を設置し、全校全教職員で信頼向上の取り組みを進める</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校信頼向上委員会の開催：年 6 回以上 ・「信頼される学校であるための行動計画」の見直し、確認 ・体罰、パワハラ、セクハラアンケートの実施：年 3 回 <p>(2) 学校全体と全教職員各々で、信頼向上の取組を実施</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスミーティングの実施：年 3 回 ・学校全体の統一取組を実施 ・全教職員が各自の状況に合わせた取り組みを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 回実施 ・全職員でポジティブメッセージを実施 ・職員会議資料に毎回記載 ・体罰アンケートは各学期 1 回をめぐりに実施 パワハラ・セクハラアンケートは 10 月以降で 1 回実施。 ・ 2 回実施 （3 学期中に 1 回実施） 	※ ◎
働きやすい職場づくり	<p>(1) PDCAサイクルの実施による業務の効率化</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内体制の見直しと会議時間の短縮 ・学校行事の企画・運営体制の見直し <p>【目標指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時退校日を月 1 日実施し、設定した日の定時に退校で 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 始業式、終了式や表彰式、壮行会のオンライン実施 ・ 68.7% (4 月～12 月まで) 	◎ ※

	<p>きる職員の割合 80%以上 (R2 年度:71%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動休養日を週 1 日設定し、予定通り休養日を設定した部活動の割合 100% (R2 年度:95%) ・放課後に開催され 60 分以内に終了する会議の割合 85% 以上 (R2 年度:66%) <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月 45 時間を超える時間外労働者の年間の延べ人数 0 人 (62 人/年) ・年間 360 時間を超える時間外労働者の年間延べ人数 0 人 ・一人あたりの時間外労働月 30 時間以内 (R2 年度:11.5h/月) (R1 年度:29.7h/月) ・休暇取得を年 20 日取得 (R2 年度:18.9 日/年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 71.8% ・ 66.7% (8/12 回) ・ 100 名 5 回:6 名、8 回:3 名 7 回:3 名、8 回:1 名 ・ 15 名 ・ 17.5h/月 ・ 13.1 日/年 	<p>※</p> <p>※</p> <p>※</p>
--	---	---	----------------------------

改善課題

I C T を活用した授業実践、オンラインによる式典の実施等 I C T 活用実践力が飛躍的に伸びた 1 年であった。令和 4 年から導入される生徒一人一台端末に向けた課題も明確になり、十分な準備期間とすることができた。一方、働き方改革に向けては、三重とこわか国体の開催年であり、本校教員も大会運営やチーム強化に向けた競技スタッフとして招集されたこと、オンライン授業のコンテンツ作成と並行した対面授業の準備、1 カ月の休校期間の授業の遅れをカバーするための課外学習や生徒対応など、教員への負担が大きく時間外労働の削減には至らなかった。あわせて休暇を取り難い状況であったことも取得日数が伸びなかった要因であった。

5 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領の実施に向けた準備と点検を行い継続的に改善に取り組んでもらいたい。 ・ライフプランに応じたキャリア教育の実施を確立して欲しい。 ・学校行事の日程、内容、実施可否に至るまで精査した後、with コロナ時代に即した形に再構築していく必要がある。 ・現在の進路指導体制が共通テストに活かされているので、現在の取組を継続して実施してもらいたい。
----------------------------	---

6 次年度に向けた改善策

<p>教育活動についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体系的なキャリア教育確立に向けた「総合的な探究の時間」となるよう、取り組み内容を再構築する必要がある。 ・各種学校行事について、内容を精査し実施時期や内容の変更について検討を行う。 ・令和 4 年度入学生の教育課程は確立したが、生徒の進路実現に沿ったものとなるよう引き続き調整を行う。 ・外部機関との連携を強化し、生徒・保護者の心身の適切なケアを充実させる。
<p>学校運営についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学年と各部、各部間の連携を密にし、よりきめ細やかでスピーディな対応を心がける。 ・I C T を活用した家庭との連携を強化し、必要に応じて案内し促進に努める。 ・委員会体制を精査し、必要に応じて統合や廃止を行いスリム化する。 ・超過勤務の削減と休暇の取得促進に努める。